

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-51483

(43) 公開日 平成10年(1998) 2月20日

(51) Int.Cl. ⁶	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
H 0 4 L 12/54		9744-5K	H 0 4 L 11/20	1 0 1 B
12/58			G 0 6 F 15/40	3 7 0 Z
G 0 6 F 17/30			15/403	3 5 0 C

審査請求 未請求 請求項の数 9 O L (全 10 頁)

(21) 出願番号 特願平8-200128

(22) 出願日 平成8年(1996) 7月30日

(71) 出願人 000004226

日本電信電話株式会社

東京都新宿区西新宿三丁目19番2号

(72) 発明者 山崎 俊之

東京都新宿区西新宿三丁目19番2号 日本

電信電話株式会社内

(74) 代理人 弁理士 伊東 忠彦

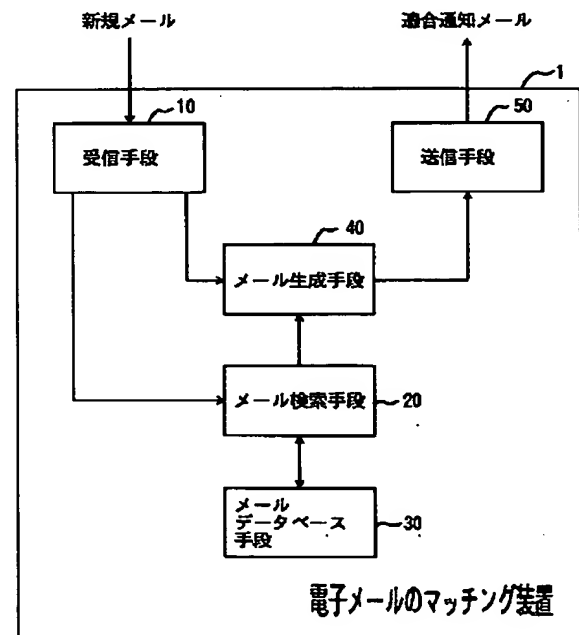
(54) 【発明の名称】 電子メールのマッチング方法及び装置

(57) 【要約】

【課題】 本発明は、個人ユーザが情報の登録及び検索を容易に行なうことが可能であり、能動的なアクセスを要することなく所望の最新情報が得られる情報検索システムの提供を目的とする。

【解決手段】 本発明の電子メールマッチング装置(1)は、電子メールを新規に受信する手段(10)と、受信された新規メールを保存メールとして保存する手段(30)と、新規メールと、保存メールの自然文マッチングを行ない、所定の適合度のマッチング結果を与える保存メールを適合メールとして判定し、適合メールの全文、メールヘッダ及び適合度を出力する手段(20)と、新規メールと適合メールを結合し、適合通知メールを生成する手段(40)と、適合通知メールを新規メールの送信者及び適合メールの送信者に送信する手段(50)とからなる。

本発明の原理構成図



【特許請求の範囲】

【請求項1】 電子メールを送受信するサーバシステムにおいて、

受信された電子メールを保存メールとして保存する段階と、

新規に受信された電子メールである新規メールと上記保存メールのマッチングを行い、上記保存メールの中から上記新規メールとのマッチングの度合いの高い電子メールを適合メールとして抽出する段階と、

上記適合メールの内容及び上記適合メールの送信者情報を含む第1の電子メールを上記新規メールの送信者に送信し、上記新規メールの内容及び上記新規メールの送信者情報を含む第2の電子メールを上記適合メールの送信者に送信する段階とからなる、電子メールのマッチング方法。

【請求項2】 電子メールを送受信するサーバシステムにおいて、

電子メールを新規に受信する受信手段と、

上記新規に受信された電子メールである新規メールを所定の期間に亘り保存するメールアドレス手段と、
上記受信手段からの上記新規メールの少なくとも一部分と、上記メールアドレス手段に既に保存された電子メールである保存メールの適合度を得るため自然文マッチングを行ない、上記保存メールの中から上記マッチングの結果が所定の適合度の条件を満たす電子メールを適合メールとして判定し、上記適合メールの全文、メールヘッダ及び上記適合度を出力するメール検索手段と、
上記受信手段からの上記新規メールと、上記メール検索手段からの上記適合メールを結合し、適合通知メールを生成するメール生成手段と、
上記適合通知メールを上記新規メールの送信者及び上記適合メールの送信者に送信する送信手段とからなる、電子メールのマッチング装置。

【請求項3】 上記メール生成手段は、上記新規メールと、上記適合メールを結合する際に、テキストからなる情報を結合する手段を有する請求項2記載の電子メールのマッチング装置。

【請求項4】 複数の上記情報を保存するテキスト情報データベース手段と、

上記受信手段からの上記受信された新規メールの少なくとも一部分と、上記テキスト情報データベース手段からの上記保存された情報の適合度を得るため自然文のマッチングを行ない、上記情報の中からマッチングしたと判定された適合情報を上記メール生成手段に供給するテキスト情報検索手段とを更に有する、請求項3記載の電子メールのマッチング装置。

【請求項5】 上記メールアドレス手段は、上記保存メールが保存された後に上記所定の期間が経過したとき、上記保存メールを消去する請求項2乃至4のうちいずれか1項記載の電子メールのマッチング装置。

【請求項6】 上記メールアドレス手段は、上記保存メールに対する上記所定の期間を予め設定する手段を有する請求項5記載の電子メールのマッチング装置。

【請求項7】 上記メールアドレス手段は、上記新規メールの第1の特定箇所に書かれた数値を上記所定の期間として得る手段を有する請求項5又は6記載の電子メールのマッチング装置。

【請求項8】 上記メール検索手段は、上記新規メール及び上記保存メールの第2の特定箇所に書かれたデータに基づいて上記所定の適合度の条件を得る手段を有する請求項2乃至7のうちいずれか1項記載の電子メールのマッチング装置。

【請求項9】 上記所定の適合度の条件を得る手段は、上記新規メール及び上記保存メールの上記第2の特定箇所に書かれた数値の中の大きい方の数値を、上記所定の適合度の条件を表わす下限値として得る請求項8記載の電子メールのマッチング装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、通信ネットワークにおける情報検索システムに係り、特に、電子メールが利用可能なインターネットのような通信ネットワークにおいて情報検索サービスを行なう方法及び装置に関する。

【0002】

【従来の技術】従来の情報検索システムとして、データベースとの連携が施されたワールドワイドウェブ(World Wide Web)サーバ(以下、情報検索WWWサーバと呼ぶ)が周知である。

【0003】情報検索WWWサーバは、所謂ホームページを開設した種々の情報提供者からの情報を情報検索の対象としてユーザに提供する。一方、ユーザは、例えば、WWWブラウザを介して、情報検索WWWサーバを使って、インターネット上に提供された上記情報を検索する。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかし、上記従来の情報検索WWWサーバの場合、個人ユーザが検索対象となる情報を提供するホームページ等を開設することは、時間的、費用的に必ずしも容易ではなく、多くの個人がホームページを持つことは困難である。従って、情報検索WWWサーバによって提供される検索対象は、一部の個人或いは法人等の提供する情報に限定されるので利便性が悪いという問題点がある。

【0005】更に、ユーザが情報を検索するためには、情報検索WWWサーバに能動的にアクセスする必要があるため、たとえ新しい情報が情報検索WWWサーバに追加されたとしても、ユーザが情報検索サーバに新たにアクセスしない限り、新しい情報がユーザに提供されることがないので利便性が悪いという問題点がある。

【0006】本発明は、上記従来技術における問題点を解決するため、個人ユーザが情報の登録及び検索を容易に行なうことが可能であり、個人ユーザの提供する情報と個人ユーザが必要とする情報が最適にマッチングされ、かつ、登録された最新の情報が、ユーザによる能動的なアクセスを要することなく即座にユーザに提供される情報検索システムの提供を目的とする。

【0007】更に、災害時等にユーザが安否を確認する用途に利用可能な情報検索システムの提供を目的とする。

【0008】

【課題を解決するための手段】図1は上記本発明の目的を達成する本発明の電子メールのマッチング方法の原理説明図である。同図に示されたように、電子メールを送受信するサーバシステムにおける本発明の電子メールのマッチング方法は、受信された電子メールを保存メールとして保存する段階（ステップ1）と、新規に受信された電子メールである新規メールと上記保存メールのマッチングを行い、上記保存メールの中から上記新規メールとのマッチングの度合いの高い電子メールを適合メールとして抽出する段階（ステップ2）と、上記適合メールの内容及び上記適合メールの送信者情報を含む第1の電子メールを上記新規メールの送信者に送信し、上記新規メールの内容及び上記新規メールの送信者情報を含む第2の電子メールを上記適合メールの送信者に送信する段階（ステップ3）とからなる。

【0009】上記本発明の電子メールのマッチング方法は、電子メールによって情報の登録及び検索が行なわれること、及び、あるユーザからの新規メールが保存メールとして保存され、そのままの形で他のユーザからの新規メールの検索対象になるので、全てのユーザに対し、常に最新の検索対象が提供されことを特徴とする。

【0010】従って、本発明によれば、個人ユーザが情報の登録及び検索を容易に行なうことが可能である。更に、ユーザは、一度新規メールを出した後は、新規メールと保存メールのマッチングを示す電子メール、即ち、適合通知メールを受け取るまで受動的に待機していればよい。その上、新しい情報が追加される度に、全ての保存メール（即ち、過去に受信され、保存されたままの電子メール）とのマッチングが行なわれ、マッチングが成立したときに限り、ユーザが電子メールによって通知されるので、ユーザは能動的に頻繁に最新情報をチェックする必要はなく、検索結果の電子メールを受け取るまで受動的に待機していれば良い。

【0011】

【発明の実施の形態】図2は本発明の電子メールのマッチング装置の原理構成図である。同図に示されているように、電子メールを送受信するサーバシステムにおける本発明の電子メールのマッチング装置1は、電子メールを新規に受信する受信手段10と、上記新規に受信され

た電子メールである新規メールを所定の期間に亘り保存するメールアドレス手段30とからなる。これにより、情報の登録は、電子メールを保存メールとして保存することにより行なわれる。

【0012】上記電子メールのマッチング装置1は、上記受信手段10からの上記新規メールの少なくとも一部分と、上記メールアドレス手段30に既に保存された電子メールである保存メールの適合度を得るため自然文マッチングを行ない、上記保存メールの中から上記マッチングの結果が所定の適合度の条件を満たす電子メールを適合メールとして判定し、上記適合メールの全文、メールヘッダ及び上記適合度を出力するメール検索手段20を更に有する。従って、情報の検索が新たに受信された新規メールと保存メールとのマッチングによって実現されるので、個人ユーザの提供する情報と個人ユーザが必要とする情報を最適にマッチングすることが可能である。

【0013】更に、上記電子メールのマッチング装置1は、上記受信手段10からの上記新規メールと、上記メールアドレス手段30からの上記適合メールを結合し、適合通知メールを生成するメール生成手段40と、上記適合通知メールを上記新規メールの送信者及び上記適合メールの送信者に送信する送信手段50とを有する。従って、登録された最新の情報がユーザによる能動的なアクセスを要することなく即座にユーザに提供される。

【0014】

【実施例】以下、上記電子メールのマッチング装置1を利用した本発明の第1の実施例の安否確認システムについて説明する。ここで、安否確認システムとは、例えば、災害時にユーザが自分の「名前」と「状況」を記入した安否情報を表わす電子メールを送信することにより、他のユーザが膨大な安否情報の中から必要な安否情報だけを容易に取得するためのシステムである。

【0015】図3は本発明の第1の実施例の安否確認システムの動作を説明するフローチャートである。図4は、安否確認システムにおける新規メールと保存メールの説明図である。安否確認システムは、ユーザAからインターネット等を介して送信された安否情報を表わす電子メールを受信部10で受信し、メール検索部20に送る（ステップ10）。図4の（A）には、かかる新規メールの一例が示されている。この新規メールによれば、ユーザAは、「異常がなく」、及び、「ユーザBの安否を知りたい」ということが分かる。

【0016】メール検索部20は、上記新規メールを入力すると共に、メールアドレス部30から保存メールを取得する（ステップ12）。図4の（B）には、例えば、既に安否確認システムが受信し、メールアドレス部30に保存したユーザBからの電子メールが示されている。以下、図4の（B）に示された保存メールを例として安否確認システムの動作を説明する。

5

【0017】メール検索部20は、ユーザAからの新規メールと、ユーザBからの保存メールの適合度を得るため、両方のメールの内容の自然文マッチングを行なう。新規メールと保存メールの間の適合度は、二つの自然文を入力として自然文と自然文の間の類似度を出力する従来周知のマッチング方法を利用して実現することが可能である。より具体的に言うと、自然文マッチングとは、自然文Aと自然文Bの類似度を測るマッチング方法であり、例えば、自然文Aに含まれる単語と、自然文Bに含まれる単語を夫々抽出し、共通に含まれる単語の個数が自然文Aと自然文Bの類似度を表わしている。適合度とは、例えば、上記類似度を、マッチングの対象である自然文全体に亘って正規化することにより得られる指標である。

【0018】図4の(A)に示された新規メールと、同図の(B)の保存メールとの自然文マッチングを行なうと、共通した単語として「ユーザA」、「ユーザB」及び「安否」が検出され、例えば、適合度80%が得られる。次いで、ステップ14において、上記ユーザAからの新規メールとユーザBからの保存メールは適合している、即ち、ユーザBからの保存メールが適合メールであると判定される(ステップ14)。従って、適合メールが存在するので、処理はステップ18に進む(ステップ16)。

【0019】メール生成部40は、受信部10からユーザAの新規メールを受け、メール検索部20から上記適合メールを受け、両方のメールを結合して適合通知メールを生成する(ステップ18)。図5には、かくして生成された適合通知メールが示されている。

【0020】送信部50は、上記適合通知メールをユーザAとユーザBに送信する(ステップ20)。更に、上記ユーザAからの新規メールは、メールデータベース部30に保存される(ステップ22)。尚、ステップ14において、適合メールが存在しなかった場合、ステップ22に進み、新規メールの保存が行なわれる。このようにして、新規メールを受信した際の安否確認システムの動作が終了する。

【0021】このように、本発明の第1の実施例によれば、多数の登録された情報の中からユーザが必要とする情報だけを迅速に取得することが可能であり、ユーザ同志が緊急に連絡を取り合うような状況での利用に適した安否確認システムが実現される。

【0022】上記本発明の第1の実施例の安否確認システムによれば、ユーザは互いに安否を確認することができ、かつ、緊急時に相手の連絡先が分からない場合、即ち、相手のメールアドレスが分からない場合、或いは、自分のメールアドレスが使用不可の場合のように互いに直接連絡を取れないような状況下でも互いに安否を確認することができる。

【0023】図6は、ユーザがインターネットを介して

6

電子メールにより情報をメールマッチングサーバに登録し、必要とする情報を電子メールにより得る本発明の第2の実施例のメールマッチングシステムの構成図である。ユーザA、ユーザB及びユーザZは、夫々、メール送受信端末100、101及び102によって、インターネットを介して、メールマッチングサーバ2との間でメールの送受信を行なう。

【0024】上記メールマッチングサーバ2は、上記本発明の第1の実施例の安否確認システムの電子メールのマッチング装置1と同様の機能を行なう受信部10と、メール検索部20と、メールデータベース部30と、メール生成部40と、送信部50とからなる。

【0025】上記メールマッチングサーバ2のメール生成部40は、新規メール3と、適合メール22を結合する際に、テキストからなる情報、例えば、文字広告を結合する手段を有し、新規メール3と、適合メール22と、文字広告とが結合された適合通知メール4を生成する。

【0026】メールマッチングサーバ2は、複数の文字広告72を保存する広告データベース部70と、受信部10からの新規メール3の少なくとも一部分と、広告データベース部70からの文字広告72の適合度を得るため自然文のマッチングを行ない、上記文字広告の中からマッチングしたと判定された文字広告を適合文字広告としてメール生成部40に供給する広告検索部60とを更に有する。

【0027】メールデータベース部30は、保存メール32が保存された後、所定の期間が経過したとき、その保存メール32を削除する機能を有する。サーバ管理者等は、上記保存メール32に対する上記所定の期間を手入力によってメールデータベース部30に予め設定してもよい。或いは、メールデータベース32は、新規メールの第1の特定箇所に書かれた数値を上記所定の期間として用いてもよい。

【0028】メール検索部20は、新規メール3及び保存メール32の第2の特定箇所に書かれた数値に基づいて所定の適合度の条件を得ることが可能であり、例えば、メール検索部20は、新規メール3及び保存メール32の第2の特定箇所に書かれた数値の中の大きい方の数値を適合度の下限値として得る。

【0029】図7は上記本発明の第2の実施例のメールマッチングシステムの動作を説明するための処理フローチャートであり、同図には、ユーザAが送信した新規メールAが、ユーザBが過去に送信した保存メールBとマッチングし、ユーザAとユーザBの双方に適合通知メールABが送信される動作が表わされている。

【0030】以下、ユーザB及びユーザZが既に送信したメールが、メールデータベース部32に夫々保存メールB及び保存メールZとして保存されている場合について説明する。図8は上記例で使用するメール及び文

10

20

30

40

50

7

字広告を表わす図であり、上記保存メールB及び保存メールZは、夫々、図8の(b1)及び(b2)に示されている。更に、同図の(c1)及び(c2)に示されているような文字広告1及び文字広告2が広告データベース部70に保存されているとする。

【0031】更に、新規メールの所定の保存期間は、メールの本文の1行目に記入され、所定の適合度の下限値は、メール本文の2行目に記入されている。最初に、ユーザAは、図8の(a)に示されたような自分の望みを記述した新規メールAを作成し、メールマッチングサーバ2に送信する(ステップ30)。ユーザAが作成した新規メールは、本文の1行目に希望する保存期間、例えば、この例では360日間が記入され、本文の2行目に希望する適合度の下限値を表わす下限適合度、例えば、80%が記入され、本文の3行目以降にユーザAの望みが自然文で記述されている。

【0032】次に、メールマッチングサーバ2の受信部10は、新規メールAを受信する(ステップ32)。新規メールAを受信した受信部10は、メール検索部20及び広告検索部60に新規メールAを入力する(ステップ34)。メール検索部20は、受信した新規メールAを検索条件として、メールデータベース部30内の保存メールB及び保存メールZと自然文マッチングを行う(ステップ36)。このステップ36において、メール検索部20は、適合メール22があれば、その適合メール22を適合度と共にメール生成部40に送信する。適合メール22がなければ、ステップ50の動作までスキップする。

【0033】図8に示されたメールの例によれば、新規メールAの希望する下限適合度は80%、保存メールBの希望する下限適合度は83%、保存メールZの希望する下限適合度は30%である。従って、保存メールBが適合メールとなる条件は、適合度が下限適合度80%と83%の大きい方の83%以上、保存メールZが適合メールとなる条件は、適合度が80%以上であることとなる。

【0034】上記例の場合、新規メールAと保存メールBの自然文マッチングの結果の適合度が85%であり、新規メールAと保存メールZの自然文マッチングの結果の適合度が50%であり、保存メールBだけが適合メール22として選択され、適合度85%と共にメール生成部40に送信される。

【0035】メール検索部20と同様に、広告検索部60は、受信した新規メールAを検索条件として、広告データベース部70内の文字広告1及び文字広告2と自然文マッチングを行い、例えば、最も適合度の高い文字広告を適合文字広告62としてメール生成部40に送信する(ステップ38)。上記例の場合、新規メールAと文字広告1の自然文マッチングの結果の適合度が70%、新規メールAと文字広告2の自然文マッチングの結果の

8

適合度が10%であり、文字広告1が適合文字広告62として選択され、メール生成部40に送信される。

【0036】次に、受信部10は新規メールAをメール生成部40に送信する(ステップ40)。メール生成部40は、受信部10からの新規メールAと、メール検索部20からの適合メール22(この例では、保存メールB)と、広告検索部60からの適合文字広告62(この例では、文字広告1)を用いて、図9に示されたような適合通知メールABを生成し、送信部50へ入力する

10 (ステップ42)。このとき、適合通知メールABの送信先には、新規メール3の送信者であるユーザAと、適合メール22の送信者であるユーザBの双方が指定される。

【0037】送信部50は、受信した適合通知メールABをユーザA及びユーザB、即ち、メール送受信端末100及び101に送信し(ステップ44)、ユーザAが適合通知メールABを受信し(ステップ46)、同様に、ユーザBが適合通知メールABを受信する(ステップ48)。これにより、ユーザA及びユーザBは、共に、自分の望みに適合する相手のメールアドレスと、そのメールの内容を知ることができる。更に、ユーザA及びユーザBは、自分の望みに適合する広告を得ることが可能である。

【0038】このようにして、ユーザBは、能動的な動作を行うことなく、自分が過去に送信した新規メールに適合する最新情報、即ち、適合通知メールABを得ることができる。一方、メールマッチングサーバ2の受信部10は、新規メールAをメールデータベース部30に保存するよう動作する(ステップ50)。

30 【0039】新規メールAは、本文の1行目に記入された日数の間、この例では、360日間に亘って、保存メール32としてメールデータベース部30に保存されるので、その保存期間中、他の新規メールの検索対象として扱われる。これにより、ユーザAは、上記保存期間中、保存された新規メールAが他の新規メールと適合する都度、メールマッチングサーバ2からの適合通知メール4を受信するので、常に最新の適合情報を得ることができる。

40 【0040】最後に、メールデータベース部30は、保存されている保存メール32の保存期間を検査し、保存期間が経過した保存メールをデータベースから消去する(ステップ52)。このようにして、ユーザAからの新規メールAが、ユーザBからの保存メールBとマッチングし、ユーザAとユーザBの双方に適合通知メールABが送信される一連の動作が終了する

【0041】

【発明の効果】以上、説明したように、本発明によれば、電子メールの機構だけを利用して情報の登録及び検索が行えるので、個人のユーザでも容易に情報の登録及び検索が可能になる。

【0042】更に、ユーザは、一度新規メールを送信するだけで、その後、適合通知メールを受信するまで受動的に待機していれば良いので、頻繁に情報検索を行うために要する時間的、費用的な負担、或いは、ストレスが軽減されるという利点を得られる。その上、新しい情報が追加される度に、過去に受信された全ての新規メールとのマッチングが行われ、マッチングが成立したときに限り適合通知メールによってユーザに通知されるので、ユーザは能動的に頻繁に最新情報をチェックすることなく、最新の適合情報を得ることができる。

【0043】一方、ユーザへの電子メールに、広告のような付加情報を挿入することができるため、電子メールのマッチングシステムの運営者が広告収入を得ることが可能である。更に、ユーザの要求に適合した広告が付加されるので、広告主が的確なPRを行い、ユーザが効率的に情報を獲得することが可能になる。

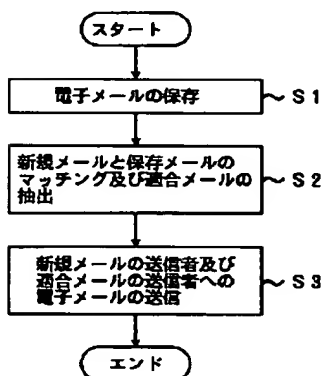
【0044】更に、災害時等に、ユーザは、例えば、氏名を記入した新規メールを送信することにより、膨大な安否情報の中から、自分の望む人物に関する安否情報を迅速に得ることができるという利点がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の原理説明図である。

【図1】

本発明の原理説明図



【図2】本発明の原理構成図である。

【図3】本発明の第1の実施例の安否確認システムの動作フローチャートである。

【図4】安否情報システムにおける新規メールと保存メールの説明図である。

【図5】安否情報システムにおける適合通知メールの説明図である。

【図6】本発明の第2の実施例のメールマッチングシステムの構成図である。

10 【図7】本発明の第2の実施例のメールマッチングシステムの動作説明図である。

【図8】メールマッチングシステムで使用するメール及び文字広告の説明図である。

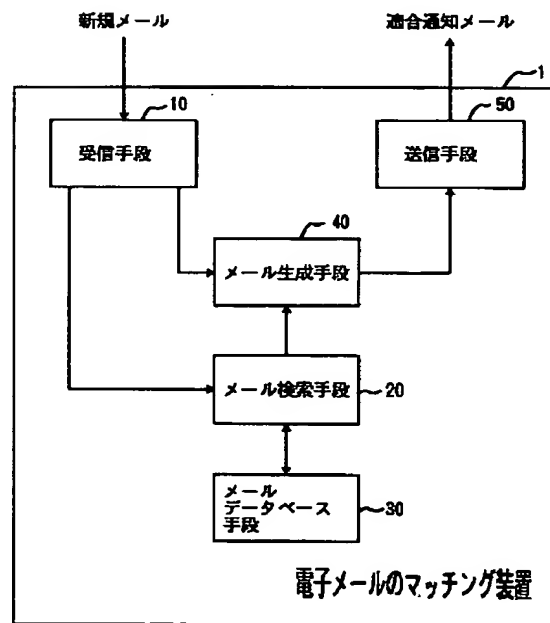
【図9】メールマッチングシステムで使用する適合通知メールの説明図である。

【符号の説明】

- 1 電子メールのマッチング装置
- 10 受信手段
- 20 メール検索手段
- 30 メールデータベース手段
- 40 メール生成手段
- 50 送信手段

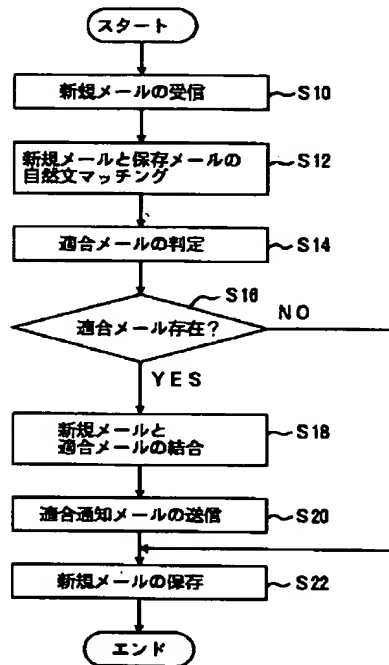
【図2】

本発明の原理構成図



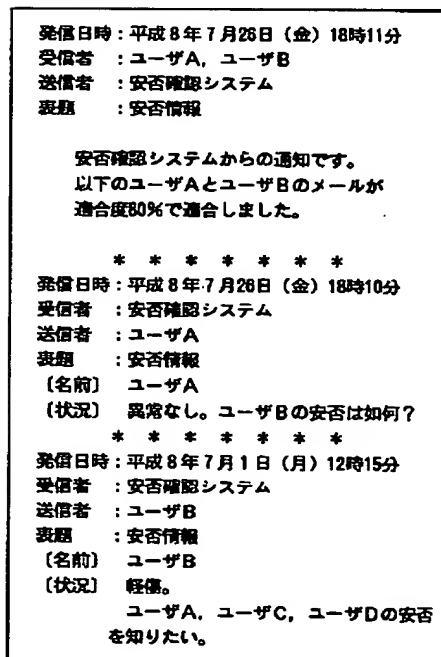
【図3】

本発明の第1の実施例の安否確認システムの動作フローチャート



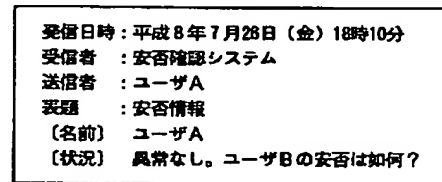
【図5】

安否確認システムにおける適合通知メールの説明図

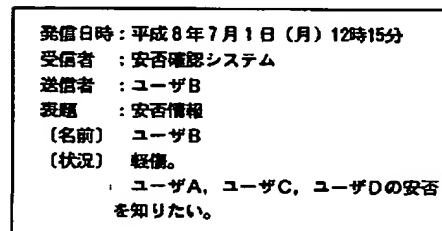


【図4】

安否確認システムにおける新規メールと保存メールの説明図



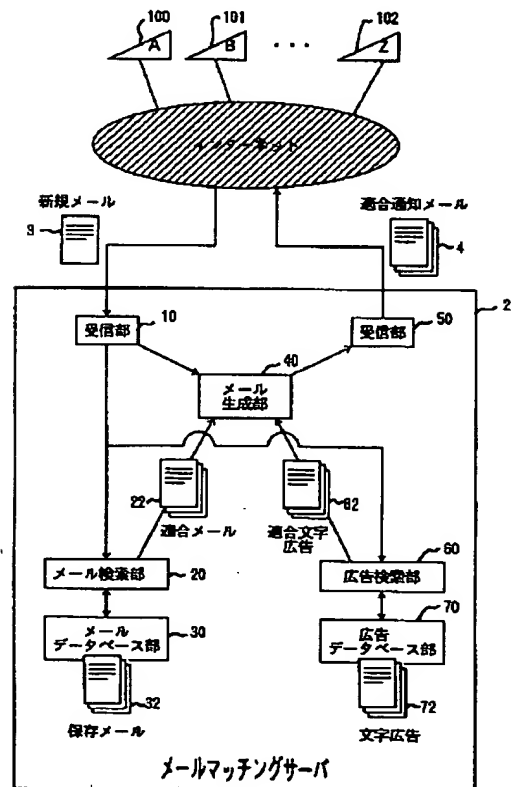
(A) 新規メール



(B) 保存メール

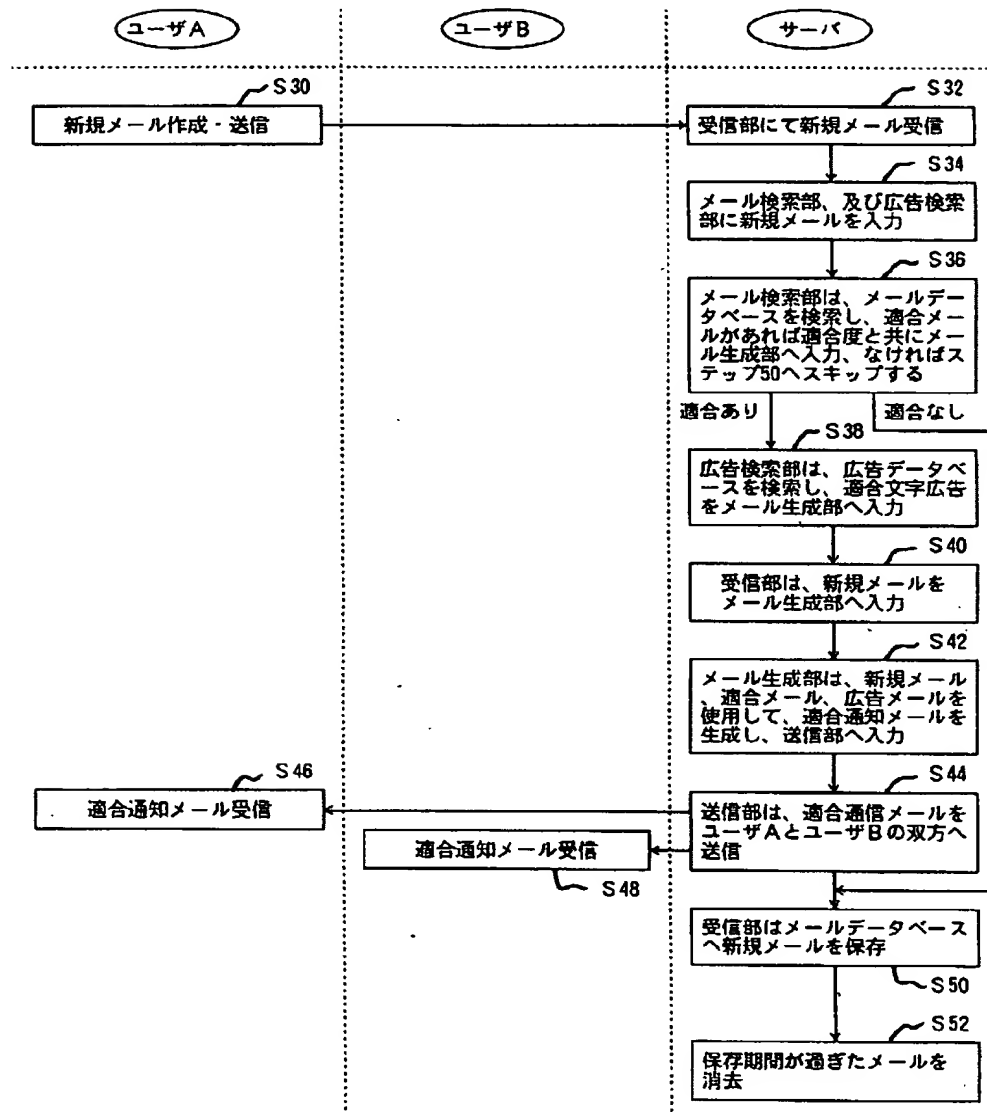
【図6】

本発明の第2の実施例のメールマッチングシステムの構成図



【図7】

本発明の第2の実施例のメールマッチングシステムの動作説明図



【図8】

メールマッチングシステムで使用されるメール及び文字広告の説明図

Date: Thu, 20 Jun 1996 12:57:38 +0900(JST)
 To: match@xxx.co.jp
 From: a@aaa.co.jp
 Subject: ジャズギターやります

360

80

はじめまして、Aと申します。
 私はジャズギターがうまいので、どこかの
 バンドで雇って頂けませんか？

(a) 新規メール例A
 (ユーザAからの新規メール例)

Date: Thu, 2 May 1996 18:27:38 +0900(JST)
 To: match@xxx.co.jp
 From: b@bbb.co.jp
 Subject: ギタリスト求む

100

83

Bと申します。
 うまいジャズギターが弾ける人、一緒に
 バンドやりませんか？

(b1) 保存メール例B
 (ユーザBからの保存メール例)

Date: Thu, 4 Apr 1996 3:21:18 +0900(JST)
 To: match@xxx.co.jp
 From: Z@ZZZ.co.jp
 Subject: ギター売ります

150

30

私はZです。
 ギター売ります。
 ストラト70年ものを9万円で！

(b2) 保存メール例Z
 (ユーザZからの保存メール例)

***** 告 *****
 ジャズCDなら○×レコード店！
 渋谷駅前スグソコ
 TEL 03-0000-0000

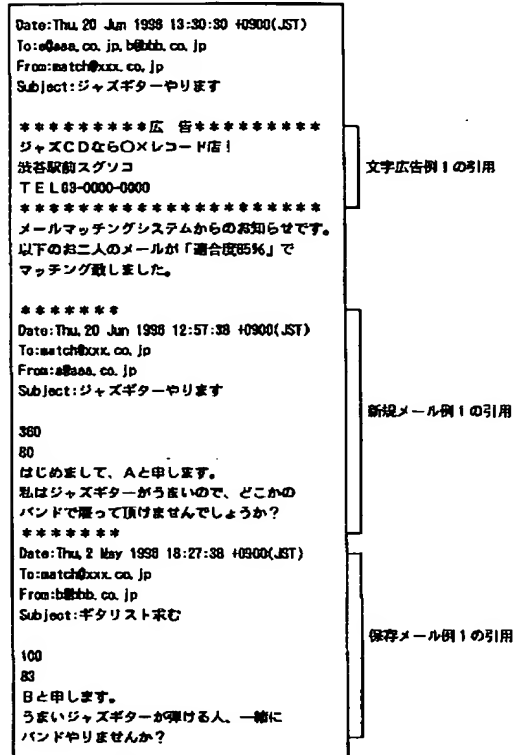
(c1) 文字広告例1

***** 告 *****
 釣り具の○○屋
 ただいまバーゲン中！
 TEL 03-1111-1111

(c2) 文字広告例2

【図9】

メールマッチングシステムで生成される適合通知メールの説明図



適合通知メール例A B
(ユーザAとユーザBへの適合通知メール例)